



新施策にどう対峙するか！

6・11夏季手当要求実現集会に結集しよう！！

「現業機関における柔軟な働き方の実現について」の提案が会社からされました。

この施策の大きなポイントは「システムを超えて現業機関の見直しを行う」ということです。現業機関は「統括センター」と「営業統括センター」として統一することが目指されています。

各支社や現業機関の現状など様々なため、仮に、すべての現業機関を統一しなくとも「兼務・連携」が行われることを見れば、私たちの働き方は大きく変わることが予想されます。

早くも多くの職場から疑問や意見が出されています！

- 日々違った業務が行われると、安全・技術継承がおびやかされるのではないかと心配だ。
- 超勤管理が複雑化し、本人任せとなることも予想され、超勤や休日労働が増加するのではないかと？
- 自分のやりたい仕事をまっとうできず、兼務として複数の仕事を同時に行わなければならないのでは？
- この施策によって、管理者の行うべき仕事が減少してしまうのではないかと？
- 36協定は事業所ごとではなく「統括センター」「営業統括センター」に集約されていくのではないかと？

私たちはこの施策を分析し、施策にどう対峙し、いかにたたかうのか？！

どのように安全と技術継承を守りぬくのか？！

組合員、未加入者が集結し、

みんなで意見を出し合い、今後の方針をつくりあげましょう！



夏季手当要求実現集会は

6月11日、11:00~、15:00~、18:30~
東京地本会議室で開催します！